

心臓血管外科専門医認定機構では、2011年8月8日付けの「心臓血管外科専門医認定機構からの重要なお知らせ」で、以下のことを通知いたしましたが、一部間違いがありましたのでご連絡いたします。

データベース入力義務化について

外科専門医は2011年1月1日よりNCDデータを利用することが決定しています。

「外科専門医は2012年1月1日よりNCDデータを利用することが決定しています。」とお知らせしましたが、実際は「外科専門医は2011年1月1日よりNCDデータを利用することが決定しています。」の間違いです。

外科専門医新規申請を目指している先生、および心臓血管外科専門医更新をせずに外科専門医の更新申請を目指している先生は、2011年1月1日から2011年12月31日までの手術症例をNCDへデータ入力することが必要です。必ず2012年3月31日までに入力を終えるようにしてください。また、JCVSD参加施設でも外科専門医取得、更新に必要でJCVSDより登録できない外科処置、手術症例（詳細項目は外科専門医規則を参照ください）はNCDより登録するように該当者にお伝えください。なお、全例をJCVSDに登録している施設でも、NCDへの利用者登録は必要です。

心臓血管外科専門医も、新規申請・更新申請ともに、2012年1月1日以降の手術症例から、NCDまたは日本心臓血管手術データベース（JCVSD）への登録を義務付けることになりました。さらに、2013年1月1日以降の手術症例から、心臓血管外科専門医としては外科専門医（NCD）共通項目である13項目のみの入力では1症例の登録として認めないことになりました。

心臓・胸部大血管手術については、JCVSDが要求する術前リスクや術後アウトカムも含めた項目を入力して、1症例の登録と認めることとなります。心臓・胸部大血管手術を行っているもののまだJCVSDに参加していない施設は、できるだけ早い段階でJCVSDに参加して下さい。

腹部大動脈以下の末梢血管外科手術についても同様に、予後情報を含むNCD血管外科分野の登録が必須となります。（胸部大動脈のステントグラフトについてはNCD血管外科分野の登録でも可とします）

貴施設に勤務中の修練医の先生方にも周知徹底をよろしくお願い申し上げます。

平成24年1月30日

心臓血管外科専門医認定機構
代表幹事 橋本 和弘